

賛否の分かれた案件

議 案 番号等	議 案 名	会議録	創造みらい半田										公明党		つなぐ未来	みらいはんだ	無所属			議決結果					
			澤田	山本	芳金	鈴木	田中	竹内	鈴木	榊原	渡邊	沢田	岩田	石川	山田	坂井	麻生	中村	小出		伊藤	國弘	有留	新美	加藤
			勝	裕介	秀英	華	嵩久	功治	幸彦	瑞輝	昭司	清	玲子	英之	清一	美穂	七海	和也	義一	正興	秀之	麻田	保博	美幸	
47	半田市高度先端産業立地促進条例の全部改正について 議案 Pick Up	⑤	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	可決
議員提出1	半田市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について 議案 Pick Up	①	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	欠	○	○	●	●	●	可決

※1:議長は表決に加わらない。 2:○は賛成の議員、●は反対の議員、欠は欠席

反対討論(議案第47号)

有留麻由議員
愛知県企業庁からの補助金、奨励金が既に多くあり、さらに半田市が独自で奨励金をプラスする必要があるのか疑問です。奨励金の対象は投資規模で1億円など、ハードルが高いものとなっています。既に力のある企業への支援ではなく、物価高騰の中、人手不足で困っているのに、もかかわらず経営が苦しいなどの中小企業を支援するべきです。

賛成討論(議員提出議案第1号)

岩田玲子議員
議員定数は2011年から15年間、見直しがされていません。議会を取り巻く環境の変化として、議会の審査対象事業は半田病院の地方独立行政法人化で減少しています。また、2011年に約一千70人であった半田市の出生数は、2025年には約640人に減少しました。このような変化に伴う人口の減少は、定数削減の根拠になると考え賛成します。

石川英之議員
議員本来の仕事は、当局が提案する議案の内容を審議することです。令和3年の文教厚生委員会では当初予算の審議を委員が6名になってもしっかりと行ってきた実績があります。現在、常任委員会には3つあり、過去の実績から18名となっても議員が担う役割はしっかりと果たせるので賛成します。

反対討論(議員提出議案第1号)

有留麻由議員
議員定数削減は、報酬等の議論が十分尽くされておらず、また、市民への説明や影響の検証も不十分です。議員の数が減れば、多様な視点による行政のチェックや市民の声を届ける機能が低下し、市民生活への影響も懸念されます。開かれた議会のためにも、22議席を維持すべきであり、定数の削減には反対です。

坂井美穂議員

議員定数の削減は、市民の利益と住民自治の将来を見据え、多様な民意をどのようにに議会へ反映していくのかという視点から慎重に判断されるべき重要な事項です。多様な民意を守り、議員の市民代表としての機能と行政の監視機能を将来にわたって維持していくため、公明党としては議員定数を削減することに反対です。

会議録へ



特別委員会の構成

共生のまちづくり推進調査特別委員会

委員長 麻生 七海
副委員長 坂井 美穂
委員 小出 義一、國弘 秀之、山本 裕介、加藤 美幸

岩田 玲子、石川 英之、榊原 瑞輝、沢田 清

いじめ解消調査特別委員会

委員長 中村 和也
副委員長 伊藤 正興
委員 有留 麻由、鈴木 英華、田中 嵩久、竹内 功治

山田 清一、新美 保博、渡邊 昭司

